

アジア・オセアニアでコアオープンエンドファンドを運用開始

三菱地所株式会社は、2017年にアジア・オセアニア地域（以下、汎アジア）にて投資マネジメント事業を展開する Pan Asia Realty Advisors 社（本社：シンガポール）を立ち上げ、2021年には MEC Global Partners Asia 社（以下、MECGPAsia 社）と改称、機関投資家への投資マネジメントサービスを提供してまいりましたが、このほどコアオープンエンドファンド^{※1}を組成、運用を開始いたしました。

なお、日系企業の関係会社である不動産ファンド運用会社が汎アジアの不動産を投資対象とするオープンエンドファンドの運用を開始するのは初^{※2}となります。

三菱地所グループは、国内外の機関投資家の様々な不動産投資ニーズにグローバルに応えるべく、不動産ファンドの運用を行う投資マネジメント事業のグローバルプラットフォームの整備を進めてまいりましたが、日本（三菱地所投資顧問株式会社、ジャパンリアルエステイトアセットマネジメント株式会社）、米国（TA Realty）、欧州（Europa Capital）に加え、今般、MECGPAsia 社による汎アジアにおけるコア商品の運用を開始したことで、グローバルな商品提供の基盤を構築いたしました。

MECGPAsia 社のオープンエンドファンドは、三菱地所グループでは日本、米国、欧州に次ぐ、汎アジアでのコア型オープンエンドファンドになりますが、日本の機関投資家の皆様を含めた世界中の機関投資家に対して、より一層充実した商品・サービスを提供してゆくことで、投資マネジメント事業の成長を更に加速してまいります。

MECGPAsia 社のオープンエンドファンドの投資対象は、豪州、シンガポール、日本などの汎アジア各国の主要都市のオフィス、商業、住宅、物流等の安定稼働資産を中心とし、運用開始時の総資産は約7.8億米ドル（約1090億円、1米ドル=140円換算）で、今後も長期的かつ持続的な成長を目指します。

※1 「コア」とは不動産賃貸からの安定的なインカムの獲得を主な目的として運用されること、「オープンエンド」とは投資家の請求による払戻しができることを指す

※2 当社調べ

■ MEC Global Partners Asia 社 概要

汎アジアにおける不動産ファンドマネジメント会社として2017年に設立。2021年に MEC Global Partners Asia 社に改称。シンガポールに拠点をおき、コアファンドを組成・運用。現在、オーストラリアおよびシンガポールにて、オフィス、商業施設を運用する。

MEC
GLOBAL
PARTNERS
ASIA

以 上